

《 令和8年度予算決定 》健康保険料率；(一般) 80/1000 据置・(介護) 19/1000 減率

令和8年2月19日に開催された第177回組合会において、令和8年度の事業運営方針及び収入支出予算が承認され、決定いたしました。一般勘定の収入支出予算34億3,700万円(被保険者一人当たり734,410円)、介護勘定の収入支出予算4億2,446万円(保険料徴収被保険者一人当たり150,519円)となりました。なお、保険料率は一般健康保険料率を別途積立金残額を鑑み80/1,000に据置き、介護保険料率については介護納付金が上昇傾向ではありますが、当健保の財政の安定度を勘案し19/1,000に減率で可決されました。

令和8年度事業運営方針

1. 健保を取り巻く環境

令和7年度の健康保険組合財政は、賃上げの影響により保険料収入は増加傾向にあるが、医療費も増加を続けており、特に高齢者の負担金は伸びが顕著で当該年度予算において健保組合全体の7割超の組合が財政赤字となった。また、令和8年度の診療報酬改定は大幅な水準引き上げ(3.09%：本体部分)が決定し、高度医療の進展と相まって医療費の増加は加速している。加えて医療保険制度改革では、「標準的な出産費用(正常分娩)の無償化」、「OTC類似薬の保険給付見直し」を含む健康保険法の改正案が次期国会に提出予定である。また、本年4月からは子ども・子育て支援制度が開始し、支援金代行徴収がスタートするなど、給付、負担の両面から健保財政を取り巻く環境の変化が起きている。

他方、令和7年12月からマイナ保険証を基本とする保険制度へ移行し、政府主導の医療DXが進展している。この医療DX化の一環として、健保組合の適用業務にe-Govを活用した申請ルートの新たな開発も進み健保業務の変革が進んでおり、当健保に於いてもDX化による業務の効率化とサービスの高度化を進めていきたい。

2. 令和8年度の事業運営の基本的考え方

- (1) 公法人としての自覚と責任を踏まえた公正・適正・円滑な事業運営
 - ① 事業主、被保険者の相互理解と協調による円滑で迅速な事業運営
 - ② 財政健全化に向け、一層の経費節減と費用対効果を踏まえた効果的な事業運営
- (2) 保健事業実施に当たっては「健康増進法」「健康日本21」「保健事業等指針」及び「健康診査等指針」「高齢者の医療の確保に関する法律」の趣旨に基づき、健康増進推進事業者として事業主の協力も得ながら1次予防を主眼に被保険者等の健康保持・増進が図れる施策、医療費抑制に繋がる施策を優先的に取り上げる。中でも被保険者、被扶養者の特定保健指導については積極的に取り組む。国民皆歯科健診制度に対応すべく、歯科健診受診率100%に向け取り組む。

令和8年度予算編成方針

◎昨今の経済情勢を見ると、物価上昇による実質賃金のマイナスが続いている。被保険者の可処分所得の減少に配慮し、別途積立金と法定準備金の残高を見据え、一般保険料率は据え置きとする。介護保険料率は財政が安定し、準備金が積み増ししている状況であり19/1000に減率する。

1. 一般勘定予算策定の留意点と策定方針

- (1) 予算策定に関する基本的な考え方
 - ① 事業主、被保険者の負担割合(62対38)は据え置く。協会健保、同業他社・同地区の保険料率と比較、法定準備金、別途積立金の適正な残高の維持を考慮し総合的に判断する。
 - ② 介護保険料とのバランスを考慮し、極力被保険者の負担増は招かない。
 - ③ 前期高齢者納付金、後期高齢者支援金の動向に注意を払い一般勘定の収支のバランスに配慮。
 - ④ 将来的には、被保険者と被扶養者の健康状態の改善による保険給付の低減を目論み、積極的に健康を維持増進する為の保健事業の充実を図る。
 - ⑤ 令和8年度一般保険料率は80/1000を維持

2. 介護勘定予算策定の留意点と策定方針

- (1) 予算策定に関する基本的な考え方
 - ① 今後の介護給付金の増加は予想されるものの、3年連続して準備金が積み増ししている状況を考慮して保険料率を設定する。
 - ② 介護保険料率は19/1000に減率
 - ③ 今後も介護保険料率については、介護準備金の残高を見据え、介護納付金の今後の動向を注視しながら検討を行っていく。

令和8年度収入支出予算(一般勘定)

< 予算額算出時の基礎数値; 令和7年3月～令和8年2月平均 >

平均標準報酬月額	456,000 円	全被保険者一人当たりの標準賞与額	1,620 千円
被保険者数	4,680 人	総標準賞与額 (年間合計)	7,581,600 千円
平均年齢	45.25 歳	被扶養者数	3,170 人
前期高齢者	133 人	前期高齢者加入率	1.711712%
		扶養率	0.68 人
		保険料率	80/1,000

< 収入の部 >		< 支出の部 >	
科 目	予算額(千円)	科 目	予算額(千円)
健康保険料	2,581,949	事務費	76,861
国庫負担金	874	保険給付費	1,657,455
徴収金	1	納付金	1,287,002
国庫補助金	2,317	保健事業費	256,670
特定健診等事業収入	10	還付金	600
出産育児交付金	2,746	連合会費	1,350
雑収入	11,764	雑支出	3,000
小計 (経常収入)	2,599,661	小計 (経常支出)	3,282,938
調整保険料収入	44,650	財政調整事業拠出金	44,650
別途積立金繰入	774,719	予備費	100,000
財政調整事業交付金	15,000	その他	9,449
その他	3,007		
収入合計	3,437,037	支出合計	3,437,037

令和8年度収入支出予算(介護勘定)

< 予算額算出時の基礎数値 ; 令和7年3月～令和8年2月平均 >

平均標準報酬月額 496,000 円 (対象者=40歳以上65歳未満の被保険者)			
保険料徴収者一人当たりの標準賞与額	1,850 千円	総標準賞与額 (年間合計)	5,217,000 千円
第2号被保険者数 (介護保険対象者)	3,729 人	保険料率	19/1,000
(うち保険料徴収者) 2,820 人			

< 収入の部 >		< 支出の部 >	
科 目	予算額(千円)	科 目	予算額(千円)
介護保険料	423,261	介護納付金	350,000
繰入金	0	介護保険料還付金	200
雑収入等	1,204	予 備 費	74,265
収入合計	424,465	支出合計	424,465

令和8年度 保健事業計画

◆データヘルス計画への対応

健康サポート室、ライオン歯科衛生研究所、デジタル戦略部、シンクタンクとの社内プロジェクトにより、健診データ、レセプトデータ分析とデータヘルス計画に基づく効果的な施策・保健指導の実施を行ってまいります。

被扶養者の家族検診受診勧奨や被保険者・被扶養者への特定健診・特定保健指導、若年層のメタボ対策、ジェネリック医薬品への転換促進、適正服薬（重複投薬・多剤投与など）に関する情報提供、ロコモティブシンドロームへの対策、歯科検診・プロケア受診率向上の為の施策を徹底して行います。

◆医療費削減に向けてのレセプト分析とジェネリック化への挑戦

医療費適正化の一環として、ジェネリック医薬品への切替えの通知の郵送を継続して行います。

◆特定健康診査・特定保健指導事業

管理栄養士による保健指導が定着化されつつあり、高い効果が出てきています。指導対象者を再度該当させない、新規に該当する人数を減らすことが肝要であり、今年度も健康保険組合管理栄養士と事業体の保健師との連携を強化して、特定保健指導の実施率を向上させます。家族健診被扶養者に対する保健指導のチャンネルを複数化して、受診率の向上を狙います。また、若年層メタボ対策を開始し、35歳以上40歳未満の被保険者に対する保健指導を行ってまいります。

◆保健指導宣伝事業

毎年継続して行っている春、秋のウォーキングキャンペーンや、健康診断の結果が特定保健指導の対象者とならなかった場合にカタログギフトを進呈する企画、春・秋に健康サポート室が開催している健康ポイント施策への支援などを継続して実施、参加率の向上と定着化を図る。更に、国民皆歯科健診制度への対応を行う為、歯科健診受診率100%を目指し、ライオン歯科衛生研究所との連携を密にして取り組んでまいります。

◆疾病予防事業

○ドック健診・家族健診

被保険者の方やご家族の皆様の健康管理のため、健康サポート室との連携により、40歳以上の被保険者を対象にドック健診、30歳以上の希望者に対する婦人科健診及び35歳以上75歳未満の家族健診（被扶養者と任意継続被保険者等対象）を実施致します。30歳以上の希望者には婦人科癌健診を実施致します。なお、乳癌検診については、精度向上のため乳腺エコーを中心に置き、隔年でマンモグラフィーを実施致します。50歳以上の男性全員、被保険者と家族健診（被扶養者と任意継続被保険者等対象）にはPSA検査（前立腺がん腫瘍マーカー）を実施致します。被保険者で要精密検査となった場合は、二次健診費用補助を行い、早期発見・早期治療へのサポートをしてまいります。また、インフルエンザの予防接種の費用補助を令和8年度も引き続き検討してまいります。

○歯科検診

歯科検診を実施し、セルフケアの適正化や要指導者への重点指導活動の推進をおこないます。健康サポート室やライオン歯科衛生研究所と協働し、セルフケア・ALOHA・プロケアの重要性についてしっかり説明を行い、ALOHA・プロケアのそれぞれで受診率100%を達成できるよう発信してまいります。

○健康づくりセミナー

50歳到達被保険者を対象に、『50歳のライフインベションセミナー』を人事部、健康サポート室と共同で開催いたします。人生100年時代の折り返し地点において、健康・マネー・キャリアは密接な関係にあることから、これらの3本建てのセミナーとして開催いたします。また、若年層からの生活習慣病予備軍者対策への健康リテラシーの向上策を検討してまいります。

◆体育奨励事業

ライオン文化体育会などの活動と合わせ、ウォーキング企画等を継続し、運動不足の解消、健康リテラシーを向上させる企画を提案してまいります。また、総務室や人事部、健康サポート室と連携し、転倒災害防止およびロコモティブシンドローム予防の取り組みも進めて参ります。

ライオン健康保険組合からのお知らせ

●令和8年度家族健康診断のご案内について

平成20年4月からスタートしました医療保険者（健康保険組合等）に対する内臓脂肪型肥満（メタボリックシンドローム）に着目した「特定健診・特定保健指導の義務化」に対し、当健康保険組合は、35歳以上から74歳以下の被扶養者および任意継続被保険者（家族を含む）を対象に、家族健康診断が受診しやすい体制づくりを進めてきました。

令和8年度の家族健康診断につきましては、昨年同様に、外部機関「ウィーメックス株式会社健康検診部」に“健診のご案内”から健診後の“健診結果”把握等の業務代行を委託しています。**健診対象者の方々には、6月中旬頃より緑色の封筒に入った“健診のご案内”を直接お送りいたします。家族健診のご案内がお手元に届きましたら、早目に健診予約をして頂きますようお願い致します。毎年、申し込みが遅くなるほど希望する日時、最寄りの医院等への予約が取りづらくなります。ご注意ください**

2026年度予定 ※申込み締切日 2026年10月末日 ※受診締切日 2026年12月末日

- ・健診予約が一部の健診機関に集中する傾向があります。
- ・従来は誕生月に健診を実施していた地区がありましたが健診時期は誕生月とは関係ありません。
- ・家族健診を昨年度、受診されていない方も積極的に受診してください。
- ・健康保険組合で全額健診費用を負担し充実した内容となっています。

皆様の健診に対するご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

●被扶養者の特定保健指導について

令和4年度の家族健康診断より、生活習慣病が疑われる被扶養者（血糖、血圧、脂質異常者）については、特定保健指導の対象者として、保健指導を行っています。これまでのオンラインでの保健指導に加えて、ドラッグストア、調剤薬局の店舗内でも保健指導を受ける事が可能で、店舗も年々拡大中です。定着化に向けて前向きに推進していきます。

ご家族の健康の為に、被扶養者の受診率向上にご協力ください。

●ジェネリック医薬品について

医療費削減の為に、ご家族全員に「ジェネリック医薬品」の使用の促進のお願いをしております。先発医薬品の特許期間が満了になりますと、他の製薬会社でも同じ有効成分を配合した薬を「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」として製造できることとなります。「ジェネリック医薬品」は、開発コストがない分だけ安く製造でき、効き目や安全性は先発医薬品と同等であると国が承認したお薬です。また、後発である「ジェネリック医薬品」は、サイズ、形状、香味、貼り剥がしやすさなどユーザビリティを高めた工夫が盛り込まれているケースが多くみられます。皆様の家計にも健保財政にも重くのしかかっている薬代を、「ジェネリック医薬品」に切替えることで医療費削減が可能になります。特に、生活習慣病やアレルギー性疾患などの慢性的な病気については、その経済効果が大きくなります。

●マイナ保険証について

【マイナンバーカード】と【健康保険証】を一体化したマイナ保険証の運用が、2025年12月2日から本格的に開始しました。マイナ保険証は医療のDX化に向けた一つのツールで、利用時に同意すれば過去の健診結果や診療・薬剤情報の医師との共有や手続きなしでの高額療養費適用、医療費控除申請の簡略化、救急搬送時の適切な応急処置など利便性が期待できますので、保険証への紐付けを推奨いたします。

また、今後も必要な情報につきましては随時発信してまいります。

●保険料月額表が掲載されています。

給与から天引きされる、健康保険料となります。

こちら⇒<https://www.lionkenpo.or.jp/member/outline/files/fee.pdf>

●プライバシーポリシー

医療費データの扱い等について記載しております。

*同じくHP画面の左上の“組合案内”をクリック後、切り替った画面の一番下、“個人情報保護について”を開いていただくと、当健保の“プライバシーポリシー”についてご覧いただけます。

<https://www.lionkenpo.or.jp/member/info/policy.html>

●【事務局メンバー】 2026年3月現在の健保組合の事務局は以下の6名です。 よろしく願いいたします。

五十嵐 章紀（常務理事/全般管理）

宇津木 克也（適用給付担当）

須田 吉一（経理担当）

鳥山 美枝子（保険事業担当）

米田 麻有子（管理栄養士/特定保健指導担当）

乾 由季子（事務全般担当）

ライオン健康保険組合



03-6739-9003